



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 7 月 27 日(月)～  
のしろまち灯り・夏 準備スタート！ 田楽作り 編

今年は「田楽」を国道の両側に飾ろう！・・・ということで、昨年は国道の片側だけに設置した田楽を今年は道路両側から灯すため、能代バイパス黒松友の会をはじめ、上町すみれ会や常盤ときめき隊ら白神ネットワークのメンバーで 7 月 27 日から田楽作りをスタートしました。

旧湊城第二小学校にて作業を開始！作業期間のうちの 28 日～30 日までは市内小中学生・幼稚園児のみんなにも体験学習としてお手伝いしてもらいました。参加してくれた子供たちは、和紙への下書き、溶かしたろうソクで文字を書く「ろう書き」、紙の貼り付け、色塗りなどの作業を行いました。子供たちは「始めは難しかったけどだんだん慣れてきた！」と元気いっぱい作業をしてくれ、昨年に製作した分と合わせて約 200 基が完成しました。田楽には、すぎ間伐材のいらなくなった部分を再利用した「すぎ灯り」に、お寺で使い終わったろうソクをセットしたものを入れて火を灯します。

「べらぼう凧」も今年新たに1つ黒松会員が製作。限られた日数の中、今年も迫力のあるべらぼう凧が完成しました！

8月6日は、国道7号バイパス沿い(豊祥岱交差点(南いとく店)～能代港入口交差点)に設置した田楽に夜7時点灯し、7時30分からは同バイパス沿いホテルエイトさん隣の会場で、べらぼう凧をバックに「能代べらぼう太鼓」による和太鼓の演奏が行われます。8月6・7日に開催される能代の伝統的行事「役七夕」への道しるべとして、田楽の幻想的な灯りをぜひ楽しんでみてはいかがでしょうか。

文： 宮腰 朝子



【ろう書き】  
これは結構ムズカシイ！



【紙貼り】  
兄弟で連携プレー！



【色塗り】  
丁寧な仕事してます



【プレゼントの騎馬ちゃん】  
好きな絵と名前を書いて世界に一つだけ！



【田楽に入れるろうソク作り】  
上町ホットステーションにて



【べらぼう凧作成】  
出来上がりが楽しみです



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

さあ、今日から旧二小で田楽づくりの開始です。昨年 100 基作製し、今年はまだもう 100 基作って国道 7 号の両側にろうそくの火を灯します。今日は能代の夏祭り、神輿や丁山が練り歩きます。ところが、今までにない凄いスコールのような雨に見まわれ大荒れの祭りとなってしまいました。そんな中、小学生や幼稚園の親子連れ、ときめき隊の女性部の皆さんがお手伝いに来て下さり、とっても楽しいひと時でした。

昨年はマジックでふち取りをして色を塗りましたが、今年は本格的なろうがけ田楽です。銅にろうそくを入れ、溶けたロウで直接紙に文字を書きます。最初はみんな緊張気味で、なかなか旨く塗れませんが、だんだんと達人に。帰る際には、工藤会長が作って下さった「キバちょうちん」に自分で絵を描きオリジナル作品を持って嬉しそうに記念撮影！夏休みの思い出の一品完成です。8月6日のまち灯りに明りをとめてくれることでしょう。

29 日の田楽づくりは放課後こども教室の浅内小学校と湊城西小学校の生徒さん達が参加して下さい、一生懸命作ってくれました。特に浅内地区では七夕祭りがなく、田楽に接することがないため、大変良い体験になったようです。

30 日には鷹ノ巣農林高校の環境土木課の 3 年生 9 人が参加。手際よくとても楽しそうに田楽を作ってくれました。最後にキバちょうちんに絵付けをし、高校生活最後の夏休みを満喫！こんな風に幼稚園児から高校生、大人までの幅広い年齢層との交流の機会はなかなかありませんので、作業しながらの会話はとても楽しいものでした。

田楽づくりは 30 日までの予定でしたが、8 月 3 日まで延長して 100 基を無事完成。能代バイパス黒松友の会、能代河川国道事務所、すみれ会の皆さん、本当にお疲れ様でした。なかでも、安全面を考慮し、田楽の中に入れるスギあかりろうそくを針金で固定し、100 基分を一人で黙々と作る工藤会長の姿はとても印象的で目に焼きついております。どんなに大変だったことでしょう。

国道 7 号の両側に広がる優しいろうそくの温かさは、みんなの心に染みわたることでしょう。来年もまた「まち灯り・夏」ができるといいですね。

文： 能登 祐子



鷹ノ巣農林高校の生徒たちにもものづくりの楽しさが伝わったようです。



多くの子ども達も田楽作りにも参加してくれました。



骨組みにみんなで色づけた紙が貼られ、次々と田楽が出来上がっていきます。



人材豊富な黒松友の会。工藤会長はじめ、黙々と作業をされる姿が印象的でした。

